

当たり前をすべての人に

東久留米市立南中学校

二年一組

齋藤 璃々

近頃、猛暑日が多く、水分補給は必須にな
つてきています。なので私は外出する際によ
く色々な味のお茶を水筒に入れて持って行き
ます。

そのお茶を作るためには、水が欠かせませ
ん。多くの場合、その水は水道水です。お茶
は外出時以外にも、夕食時や就寝前など様々

な場面で飲んでおり、私の好きな飲み物の一
つです。水道がなか。たらこのお茶も手軽に
飲めか。たと思おうと、水道という存在は私に
とって大きくてありがたいものだと感じます。

私が住んでいる地域の東久留米市は、水が
とても美しい場所です。落合川と南沢湧
水群は、平成の名水百選に都内で唯一選ば
れています。南沢湧水の地下水と荒川系の水
をブレンドしたものが市内の水道水として使
われているそうです。自分の地域の美しい水

なっています。

ということは、雨や雪が降らず一年中暑い

乾燥帯では、水源の確保が難しいというのと

になります。実際、乾燥帯には、水が少なく

水の整備もあまりされていりないので、

それでも人々が生きていられるのは、

水の存在です。水が存在している所を人々

は、オアシスと呼びます。私たちは水があ

るこが当たり前なので、わざわざ水がある

所に名前をつけて呼びません。乾燥した地域

く感じます。

湧水は何もないところからいきなり水が出

てくる訳ではなく、地面にしみ込んだ水が地

下水として流れ、地形などの影響で吹き出て

くるそうです。その地下を流れる水もまた、

突然発する訳ではなく、雨水や雪どけ水に

では水はとも貴重な存在なので、オアシス
と名前をつけて呼んでいるのではなにかと考
えまされた。

当たり前があることは、当たり前がな
へ当たり前前を提供することにつながると思
ます。日本にもそのような支援団体があり、
井戸を設置したり、貯水タンクを修復したり
するなどしているそうです。

水に対する取り組みは今世界規模で行われ
ており、水以外にも、社会を持続させるため
の十七の目標が国連で決められています。水
を守るということは森を保護することや異常
気象をなくすことも必要で、一つの目標を達
成させる為には、周りにある課題を先に処理
しなければいけません。決して簡単な事では
ないです。

水道は、支えてくれる人がいて初めて成
立ちます。水質を良くしてくれる人や水道管
を作る、壊れてる人、修理してくれている人
など、一つの水道管を作る為にはとても大き

なかが働いています。将来、その大きな力に
 なっていくのは今の赤ちゃん、幼稚園生、小
 学生、中学生、高校生、大学生です。ずつと
 当たり前を提供していくために、そして当た
 り前を更新していくために、今私たちが出来
 ることを考えなければなりません。自
 分の地域の美しい湧き水を守るために、竹森
 や山を守るために、汚水で命を落とす人一
 人でも減らすために、水道のありがたさ、大
 切さを発信し続ける必要があると感じました。